



Walk with Children

めぐろ

大人 大人 大人

せいび

199号
2024年3月

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。

テサロニケの人々への第1の手紙5章16～18節

校長 シスター小島理恵

今年度も修了の時を迎えました。一年間の様々な教育活動が恵みと喜びのうちに行われましたのは、ひとえに保護者の皆様のご理解とご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

ドン・ボスコの学校は、喜びが特徴です。クラスでの学習活動はもとより、学校行事、宗教行事全てにおいて、子ども達が喜んで参加できる教育環境を整えることができるよう、取り組んでまいりました。特に今年度は、校名変更と共に、「国際学園」として英語に関わる要素を増やし、子ども達に提供してまいりました。一年を終えようとしている今、子ども達の成長が手に取るように分かります。先日、4年生の英語朗読劇の発表がありましたが、その発音の美しさと自信を持って発表する姿には驚かされました。総時間数が30時間を優に超える毎朝10分間の英語学習は、確実に実っていると感じたひとときでした。来年度はどんな感動が待っているのか、今からワクワクします。

4月からの新しい一年が、実り多き日々となり、皆様の上に神様のお恵みが豊かに注がれますようお祈り申し上げます。一年間、本当にありがとうございました。

あなたがたは、地の塩である。

あなたがたは、世の光である。

マタイによる福音書 5章13・14節

コンネッショネ

Connessione ~つながり~

「Connessione」とは、イタリア語で「つながり」を意味する言葉です。

ここではキリスト教とのつながりを大切にするための豆知識を紹介していきます。

卒業式を前に、第65期卒業生の卒業記念品であるスタンドグラスが職員室前の廊下に飾られました。スタンドグラスのモチーフは、冒頭のみことばです。

卒業を控えた練成会の中で、卒業後の歩みを考えるきっかけとしてこのみことばを取り上げ、「塩の役割はなんだろう。」と神父様が6年生に問いかけられ、「防腐」「味付け」「清め」と子ども達から出される考えに、丁寧にお答えになりました。周りの人を生かす防腐剤の役割、また、周りの人の喜びを生み出す味付けの役割などなど、塩も生かされ方が違うように、人も人によって生かされ方や役割が異なります。

さらに、神様は「あなたは世の光」と、はっきり言われています。はっきりと断定されるこの言い方から、神様の自信、確信を感じることができます。月が太陽の光を受けて輝いているように、人は神様であるイエス様に照らされて輝きます。そしてその行いは、神に信頼し、他者を思いやり、たゆまぬ努力を怠らず、揺るぎない清い心を持ち続ける。そんな目黒星美での成長を振り返る練成会を終え、卒業生が巣立っていきます。

地の塩、世の光である「星美の子」であることに誇りをもって遣わされていくことを、私達も信じています。

ほら、できたよ作品展

1月末に松屋銀座で4年ぶりの「東京私立小学校児童作品展 ほら、できたよ」が開催されました。本校では毎年5年生の児童が図画工作の時間に作品を作って参加しています。今年のテーマは「えんぴつのお家」。自分たちが使って短くなった鉛筆が第二の人生として、どんな空間で過ごしたら幸せかを考え、そしてSDGsにも配慮して材料を選ぶこと、そして日ごろ自分たちが使っているものを、使い終わったら捨てて終わり、ではなく、使ったものをさらに生かすこと、そして大切にすることも考え、学びながら制作しました。子供たちは細かい部分まで熱心に制作し、それぞれの個性あふれる素敵な展示となりました。また、会期が終了した後には校内にて展示し、多くの児童が興味を持って作品を見ていました。

児童の感想より

私は、展示に向けて作品を作って、これは学校でしかできない大切な思い出の一つだなと思いました。一人で作って、その一つひとつをみんなで合わせることで一つの作品が完成するからです。他の学校の作品を見ても、一人ではなくみんなで作っているものがたくさんありました。この学年で作ったみんなの思い出を大切にしたいです。

僕は、えんぴつくんの二人が楽しく自由にくらせるような家を作りましたが、さまざまな発想が作品展を包んでいました。

学校の個性を活かした作品を作る楽しさや、喜び、達成感が作品展を作っているのだと思いました。



たくさんのお客様が展示をじっくりと見ていらっしゃいました。

カトリック音楽会

第52回カトリック小学校連合音楽会が神奈川県民ホールで行われました。コロナ禍で中止になった年、歌えずに祈りの集いになった年、オンラインで演奏を聴きあった年を経て、今年は4年ぶりにカトリック小学校が集い音楽会が開かれました。前日の降雪のため開催が不安でしたが、当日は15校が集い、お互いの演奏を聴きあうことができました。4年生は大きなホールで思いきり表現し、他校の演奏に感動し、貴重な経験になりました。

思い出に残ったカトリック音楽会

4年

私達4年生は、学校の代表として、2月6日にカトリック音楽会に出演しました。

カトリック音楽会の本番に向けて一生けんめい練習を重ねました。合唱では、声の強弱に気を付けました。またリズム表現では、リコーダーの指使いやカスタネットのたたくタイミングなどに気を付けて、みんなで頑張って練習しました。練習の時に、リコーダーを少し間違えてしまうことがありましたが、本番では大成功でした。練習の成果が出て良かったです。このことから努力は報われるのだなと感じました。これからも努力を大切にして過ごしていきたいと思います。



6年スキースクール

目黒星美小学校最後の合宿であるスキースクール。天候には多少恵まれないこともありましたが、「これも神様がお造りになった自然の一部」「いま自分たちができることを前向きに精一杯楽しもう」と現状を受け入れて前に進む子どもたちの姿がありました。中学校でも自分に与えられた環境、支えてくれている人々に感謝の気持ちを持ち、務めを果たして行ってほしいと願っています。



6年生を送る会

今年度は、数年ぶりに、全校児童が体育館に集まって6年生を送る会を開催しました。1年生から5年生は、『6年生いままでありがとう』の文字を、各クラス一文字ずつお花紙で制作し、体育館の舞台上に飾りました。また、様々な色のハートのカードに6年生へのメッセージを書き、それらを貼り合わせて大きな花束の絵を作り上げた「花束レター」も、一生懸命準備しました。送る会の中で、「花束レター」がお披露目されると、6年生からは歓喜の声があがっていました。他にも、6年生への感謝の気持ちを、クラスごとに心を込めて伝えたり、委員会が準備したクイズを楽しんだり、全校児童で楽しいひとときを過ごしました。会の途中で、みんなが楽しみにしていたくす玉の紐が外れてしまうというハプニングにも見舞われましたが、歌のプレゼントでカバーをするなど、一致団結して6年生を送る会を大成功に導くことができました。6年生にとって目黒星美での大切な思い出の一つになってくれていると嬉しいです。

